

平成 25 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【9月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 2	日本語試験

以下のすべての設問に解答しなさい。

問題 1 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

問 1 下線部 (1) (2) (3) (4) を漢字に直しなさい。

問 2 [ (ア) ] [ (イ) ] に、文中にある語を入れなさい。

問 3 「国語」と「日本語」の違いについて、本文中の説明を踏まえて述べなさい。

問 4 「外国語」と「第二言語」の違いについて、本文中の説明を踏まえて述べなさい。

問 5 「国語 (教育)」と「日本語 (教育)」の関係について、筆者はどのように考えているか説明しなさい。

注 1: 「以下の文章」とは、縫部義憲著『日本語教育学入門 (改訂版)』瀝々社、42～44 頁である。

問題2 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

問1 空欄ア、イ、ウに適切な言葉を入れなさい。

問2 波線部の「存在するわけではない」について、ここで「わけではない」という否定表現を用いている理由を説明しなさい。

問3 下線部の「伝えられるのは客観的な位置関係というよりは、想像上の「移動」によって構成された配置である」という説明に適合する日本語の事例を挙げなさい（本文中に挙げられている事例は除く）。

問4 二重下線部の「架空」の意味を説明しなさい。

問5 この文章の趣旨を200字以内（句読点を含む）でまとめなさい。

注2：「以下の文章」とは、大堀壽夫著『認知言語学』東京大学出版会、2～3頁である。

問題3 以下の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

問1 下線部の漢字を含んだ単語 a.~d.を、ひらがなで書きなさい。

a. 三日月を眺める      b. 心中      c. 織りまぜている      d. 埋葬

問2 波線部1.「うれしい誤算だった。」とはどういうことか、説明しなさい。

問3 波線部2.「犬と遊ぶのは、本を読むのに似ている。」とはどういうことか。「自分自身への問い掛け」ということばを、あなたなりに解釈して説明を加え、両者の類似点について解説しなさい。

注3:「以下の文章」とは、小川洋子著「犬の気持ち、代弁する息子」『博士の本棚』新潮文庫、204～205頁である。